

雪

たねニュース

令和4年(2022年)11月1日発行(隔月1回1日発行)

- 2023年 北海道向け飼料用トウモロコシ品種のご紹介
- 「2022年度 酪農学園大学・雪印種苗株式会社共催酪農セミナー」会場とWebのハイブリッド開催
- 冬を乗り切れ! 厳冬期の子牛飼養方法と当社製品ラインナップ
- 骨とカルシウム~カルシウムの働きと骨との関係~
- 雪印メグミルクのお料理レシピ

2022年を振り返り

日頃より弊社製・商品をご愛顧いただき、心から厚くお礼申し上げます。

2022年は、世界中に新型コロナウイルスの変異株・オミクロン株の感染が拡大する不穏な年明けとなり、エネルギー・原材料費の高騰、ロシアによるウクライナ侵攻、日米の金利差拡大による円安などが日本経済に影を落とした年となりました。

明るい話題としては2月に冬のアスリートの祭典冬季オリンピック・パラリンピックが中国 北京で開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、観客の入場制限による開催となりましたが、アスリートたちの活躍により「感動」と「記憶に残った」冬季大会となり、日本がオリンピック・パラリンピック合わせて25個のメダルを獲得したことが思い出されます。

さて、今年の北海道の天候は、夏場に冷涼な空気を持つオホーツク海高気圧が居座り、特に道東方面を中心に湿った冷たい空気が流れ込む日が多くなり、極端に気温が上がる日がほとんどなかった状況でした。そのような中、牧草、トウモロコシの生育に関しては比較的安定していましたが、地域によっては集中豪雨による収量減や収穫作業の遅れなどが発生し、近年、顕著化している気候変動の農業への影響を危惧しております。

また、配合飼料価格情勢については、ロシアによるウクライナ侵攻で国際的な穀物原料の値上がりや為替による円安進行、原油高による船舶運賃の上昇などにより配合飼料価格が高騰し、高止まりの状況となっています。そのような状況下で飼料を確保するための、国内自給飼料増産は重要な位置付けであり、弊社としても草地更新、適正な草地の肥培管理などのご提案を通して、貢献させていただきたいと思っております。

本誌「雪たねニュース」は、皆様のお役に立てる技術情報、製品・商品のご紹介、タイムリーなニュースなどの情報を掲載していますが、弊社ホームページや技術情報誌「牧草と園芸」、その他様々な媒体を通じて多くの情報発信が出来るよう、今後も努力して参りたいと考えておりますので、引き続きご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染は徐々に減少傾向となっていますが、感染防止対策を生活の一部とした行動を継続頂き、2023年の明るい新春を迎えられます事を心からご祈願申し上げます。

雪印種苗株式会社
事業本部 小坂 康